

激動の一年を振り返る： インターネットガバナンス2025

IP Meeting 2025

「挑戦×経験×世代 ～フルスタックで“不確実”の先へ」

2025年11月27日

JPNIC政策主幹 前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

▶▶▶ 目次

- ICP-2 RIR設立認定基準の見直し
- AFRINICの状況
- 政府間アリーナでは
- 国内政策は
- 最後に



ICP-2 RIR設立認定要件文書の見直し



▶▶▶ ご参考までに： NROとASO、そしてICP-2

- NRO: Number Resource Organization
 - 5つのRIRsの連合体・連絡組織
 - NRO Executive Council (EC) : RIR CEOsによる会議体、NROを代表
 - NRO Number Council (NC) :
各RIRからコミュニティメンバー3名ずつから構成
 - NRO事務局 : 専属のExecutive Secretary、Secretaryの2名と、各RIRの専門部局員のコーディネーショングループで構成
- ASO: Address Supporting Organization
 - ICANNの支持組織(SO)の一つ
 - ICANNとNROの間の覚書で、NROがASOの機能を担うことが定義。
NRO NCがASO Address Council (AC)の役割を果たし、IANA IPアドレスポリシー（グローバルポリシー）の調整などを行う
- ICP-2: ICANNで定義されるInternet Coordination Policyのひとつ「新RIR設立認定要件文書」であり、現在改定作業中

▶▶▶ 取り組みの経過 (これまでに3回のコンサルテーション)

- 2023年10月
NRO ECがNRO ACに対して、ICP-2の改定作業を要請
- 2024年10月－12月
改定文書の「原則案」を提示してコンサルテーション
- 2024年12月－2025年2月 寄せられた意見を勘案
- 2025年4月－5月
改定案「RIRガバナンス文書」を公開、コンサルテーション
- 2025年6月 NRO NC集中検討@ICANN83プラハ
- 2025年8月－11月
「RIRガバナンス文書」改定案第2版を公開、コンサルテーション
- 2025年11月
NRO NC合宿検討会@モンテビデオ

<https://blog.nic.ad.jp/2025/10998/>

- 参考訳を準備しました：
<https://www.nic.ad.jp/ja/translation/nro/20250828.html>



The screenshot shows a blog post from JPNIC. The header includes the JPNIC logo and 'JPNIC BLOG'. The main title is 'ICP-2 「RIRガバナンス文書」 草案バージョン2公開と意見募集開始'. Below the title, it says 'dom_gov_team 2025年9月11日' and 'IPアドレス JPNICからのお知らせ インターネットガバナンス'. The main text discusses the revision of the ICP-2 draft and the start of a consultation period. It mentions that the draft was created in April 2025 and the consultation period ended in August 2025. There is a link to the consultation document and a note that a Japanese translation of the draft is available.

▶▶▶ ICP-2第2版原則案を中心に、改定の要点を

<https://blog.nic.ad.jp/2024/10159/>

ガバナンス： 権限、改定、修正

RIRのエコシステム： 適用範囲、サービス地域

RIRのライフサイクル： 認定、**運営**、**認定取り消し**

認定： コミュニティの支持、コミュニティのコミットメント

運営： 独立性、非営利、コーポレートガバナンス、
会員による統制、コミュニティ主導、中立性、
透明性、**監査**、サービス、継続性、乗っ取り防止、
エコシステムの安定性

認定取り消し： 是正措置、移行過程

認定要件だけでなく、
運営要件や
認定取り消しを定義

運営要件充足を
監査で確認

緊急継続性 (改定案第2版で追加)： 災害などの際に一時的移管

ご参考までに： ICP-2改定案第2版の要点

- タイトルの語句の調整
- 前文を大幅に加筆して背景情報を提供
- 「実装手順」の定義（方針文書であることの明示）
- 認定取り消しプロセスにおける透明性の改善
- 認定取り消し提案の閾値（2000会員 or 25%）
- 臨時監査実施条件の変更（会員およびICANN）
- 定期監査の感覚の明示（3年毎）
- 緊急継続性条項の追加（災害時などの緊急一時対応）
- 文書改定の際の施行猶予を定義（3年以内）
- RIRに紛争処理手続きを課す

▶▶▶ NRO NC合宿検討会@モンテビデオ

2025/11/12-14

@ Casa de Internet de Latinoamirica y el Caribe



作業の印象 と 今後の見通し

- 当初の計画：2025年中にNRO及びICANN理事会の承認
- 第2回コンサルテーションの印象
 - 力強い支持を頂いている
 - 具体的な修正提案をいくつも頂いた
 - 実装や概念など改定スコープ外にも意見を頂いている
 - もう一度コンサルテーションサイクルを回すべきか？
 - 意見招請をもう少し具体的に、焦点を絞る、など、収束方向にするべきか？
- 今後の計画：
ひとまずICANN86@Seville(2026/06) まで作業日程の視野に入った **ざっくり2026年いっぱいかかるか？**



AFRINICの状況



AFRINICがなぜ心配されるのか

■ 2020年ごろ

- IPアドレスポリシーに従わず、割り振りを受けたアドレスブロックを他地域を含む需要者にリースしていた会員がいた
- ポリシーと契約への違反として、AFRINICが当該会員の会員資格を停止しようとしたら、多数の訴訟に持ち込まれた。

■ 2022年4月

- 一部差し止め請求が受理され、理事会による意思決定が禁じられたため、理事会が機能不全状態に陥った

■ 2023年8月

- 管財人が指名され、理事会の機能回復に着手するも、管財人が解任されるなどプロセスが混迷

▶▶▶ 2025年の流れ（6月の理事選挙まで）

- 3月 新たな管財人による機能回復プロセス開始
- 4月 理事会選挙公告
- 6月 選挙日に不正が指摘され選挙プロセス中断
 - ICANNからAFRINIC管財人に、強い口調で懸念を示し、不正疑惑に対する事実関係を照会する公開書簡を送る
 - <https://blog.nic.ad.jp/2025/10771/>



2025年7月の流れ

<https://blog.nic.ad.jp/2025/10836/>

- 9日 **CIL**(Cloud Innovation社)から**AFRINIC解散を求める申し立て**
 - 11日に自社Webサイトで解散申し立てをアナウンス
 - <https://cloudinnovation.org/cloudinnovation-call-AFRINIC-wind-up-amid-election-impasse.html>
- 15日 管財人から9月30日までに**再選挙**を行う旨の**公告**
- 16日 ICANNから政府とAFRINIC管財人に公開書簡
 - AFRINICの第1版ICP-2への準拠を見守る立場を明示したうえで、最近の各社の動きに大きな懸念を示し、**子細に事実関係と立場を表明**
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250725-01.html>
- 18日 モーリシャス政府がAFRINICを**指定会社**に指定
 - 指定会社： 公共的性質をもつ企業を保護監察下に置く措置

▶▶▶ ICANNから政府とAFRINIC管財人への公開書簡（抜粋）

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250725-01.html>

...

また、ICANNがCloud Innovation Ltd（Cloud）のCEOにより資金提供されているメディア報道を歪めたとする主張は、根拠を欠いています。公平性を装いつつ、わずか2週間で50以上の記事を掲載し、NRS（Number Resource Society）を通じた選挙活動を促すようなメディアに対しては、慎重に見る必要があります。

CloudのCEOとNRSの関係は明白であり、NRSはIPアドレスブロックを資産として扱うよう主張してきたのは、AFRINICの正式ポリシーに反します。AFRINICが担うのは、アフリカ・インド洋地域で実際にネットワークを構築し、サービス提供する事業者への応需の資源割り当てです。ICANNは現在のガバナンス危機を利用してAFRINICを私的に支配しようとする動きに強い懸念を抱いています。

...



2025年9月理事選挙の流れ

<https://election.afrinic.net/>

- 7/28—8/26 投票人登録
- 8/15—9/02 候補推薦
- 9/05 投票人公表
- 9/08 候補者名簿公開
- 9/10—9/12 電子投票期間
- 9/12 結果公表





理事の顔ぶれ

<https://election.afrinic.net/elected-candidate>

Board Seat 1 - Northern Africa Vice-Chair



Name: Abdelaziz Hilali

Board Seat 4 - Central Africa



Name: Prof. Kayemba Laurent Ntumba

Board Seat 7 - Non-Regional



Name: Benjamin Mark Roberts

Board Seat 2 - Western Africa Chair



Name: Emmanuel Adewale Adedokun

Board Seat 5 - Southern Africa



Name: Carla Sanderson

Board Seat 8 - Non-Regional



Name: Ajao Adewole David

Board Seat 3 Indian Ocean



Name: Kaleem Ahmed Usmani

Board Seat 6 - Eastern Africa



Name: Fiona Asonga



Africa Internet Summit 2025 @Accra, Ghana

<https://blog.nic.ad.jp/2025/11136/>

2025/09/29 – 2025/10/03





AFRINIC理事会の動き

<https://lists.afrinic.net/pipermail/announce/2025/002501.html>
<https://lists.afrinic.net/pipermail/announce/2025/002512.html>

- 10/13 理事会管財人コミュニケ
 - 管財人離任プロセスの開始
 - CEOリクルートの開始
 - 理事会委員会組成
 - 選挙不正の調査
 - 定款と組織改正
- 10/末 ICANN84@ダブリン
 - ICANN理事会、ASO ACに AFRINIC理事会から現況報告
- 11/19 理事会アップデート
 - 暫定CEOに替わり幹部共同統治体制
 - CEO探索委員会組成
 - NRO NC理事会指名委員の指名 (コミュニティ選出は進行中)

[AFRINIC-Announce] Communiqué from the AFRINIC Board of Directors and the Receiver

AFRINIC Communication [comms at afrinic.net](https://lists.afrinic.net)
Mon Oct 13 05:43:00 UTC 2025

- Previous message: [\[AFRINIC-Announce\] Board Announcement: Appointment of Chairman and Vice-Chairman](#)
- Next message: [\[AFRINIC-Announce\] Register for the "Updating ICP-2: Advancing Internet Number Governance for the Future" Webinar on 21st October 2025](#)
- Messages sorted by: [\[date\]](#) [\[thread\]](#) [\[subject\]](#) [\[author\]](#)

[Joint Statement from the AFRINIC Board of Directors and the Receiver]



to inform
ies are
employees, and
community.
ination of
reby initiating
ntly awaited.
invaluable
ectors is now in

prior to and
quick resolution
s. Until the
agreed to
appointment

ion,

ly three years.
r their service.
g-term solutions
opportunity.

d the rights of all
he subject



▶▶▶ AFRINICの状況のまとめ

- 2025年本格化した正常化努力によって、ようやく理事会が機能し始めた。今後の復調に期待
- ことの発端
 - 会員によるポリシー・契約に関する認識の違いに端を発する法廷での係争
AFRINIC：IPアドレスは分配される 会員：IPアドレスは資産でポータブル
- それに向けた対処
 - ICANNでは最終的に、現行ICP-2を根拠とした非常に厳しい要求と交渉を行った
 - モーリシャス政府は「指名会社」制度を行使、司法による解散手続き進行に抗戦
- これからの課題
 - AFRINICの経営正常化は、事務局体制、ガバナンス枠組みなど課題多い
 - モーリシャスにおける法人運営に関する問題勃発に端を発して、「ハイブリッド条約組織」のアイデアが沸き上がってきている



Smart Africa と AFRINIC と ICANN

<https://www.icann.org/en/blogs/details/icanns-commitment-to-the-africa-community-18-11-2025-en>

- Smart Africa: アフリカ諸国のICTポリシー推進連合
- ICANNはアフリカのICT推進の支援のために金銭的援助
- Smart Africaは「インターネットガバナンスブループリント」草案をICANN84でプレゼン
 - <https://icann84.sched.com/event/29QIZ/smart-africa-internet-governance-blueprint-presentation-and-caiga-documents-final-review-2-of-2>
 - この中でAFRINICのガバナンスへの提案を行っている模様
- ICANNは支援がAFRINIC正常化に関する内容を含まないことをアナウンスで明確化

ICANN's Commitment to the Africa Community

18 November 2025

By [Kurtis Lindqvist](#)

ICANN has a long-standing and valued relationship with stakeholders across Africa that began more than two decades ago. On 8 April 2005, ICANN recognized AFRINIC as the Regional Internet Registry (RIR) to manage, distribute, and register Internet number resources ([IPv4 and IPv6](#) address space and Autonomous System Numbers) across the continent in alignment with its community-developed policies. Over the following years, ICANN has expanded its engagement in the region, invested in infrastructure, and developed local technical capacity to foster a more secure, resilient, and accessible Internet.

Recently, ICANN has received queries about its involvement in, and views on, a proposed new governance model called the Council of African Internet Governance Authorities (CAIGA), developed by Smart Africa.

In December 2022 ICANN launched the Coalition for Digital Africa (CDA) to bring together stakeholders to expand the Internet in Africa. The Coalition promotes innovation and encourages entrepreneurial efforts aimed at strengthening Internet infrastructure to support the development of Africa's digital economy. Smart Africa became a partner in the CDA in 2023 and has contributed to an initiative to 1) encourage African participation in global Internet governance fora and discussions, particularly within ICANN's Governmental Advisory Committee; and 2) provide technical expertise to governments and lawmakers to support the development of policies and regulations that harness Africa's digital transformation.





政府間アリーナでは



▶▶▶ WSIS+20（世界情報社会サミット20周年振り返り）

<https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2025/20251119-01.html>

- 12月の国際連合総会での採択に向けて起草作業中
 - 6月20日「エレメンツ・ペーパー」を公開
 - 8月29日「ゼロ・ドラフト」を公開
 - 11月7日第1版ドラフトを公開 12月第1週に第2版公開予定
- なぜ重要か：
 - 加盟国が正しくマルチステークホルダーによる方針検討を支持しているか。正しく他のステークホルダーの権能を認知しているか。
 - ついては、2025年で活動年限が終わるIGF（インターネットガバナンスフォーラム）を好ましく継続するか
- 経過は上々：

2024年のGDC（グローバルデジタルコンパクト）プロセスでは少々問題があり心配だった

 - コンサルテーションは広く開かれ意味があるものに
 - IGF2025でのコンサルセッション、IMSB(Informal Multistakeholder Sounding Board)設置など
 - IGFの継続・恒常化・体制拡充の必要性なども好ましく盛り込まれる



国内政策では



▶▶▶ オンラインカジノ (2025—現在)

- 2020年、オンラインカジノによるギャンブル依存症の問題が多発し、衆議院で質問が提示される。以降ブロッキングを含む対策に関して国会での議論が活発化
- 2025年、総務省が「オンラインカジノに係るアクセス抑止の在り方に関する検討会」を設置、現在検討中。
 - https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/online_casino/index.html
 - JPNICから理事のクロサカ、政策主幹の前村が構成員として参画
 - ICANN SAC127「DNSブロッキングの再考」を資料提出するなど、し、インターネットの考え方から、ブロッキングの問題点などを指摘
 - SAC127 DNS Blocking Revisited <https://itp.cdn.icann.org/en/files/security-and-stability-advisory-committee-ssac-reports/sac127-dns-blocking-revisited-16-05-2025-en.pdf>
- 現在までに9回の検討会を実施。3月終了を目標



最後に



▶▶▶ Please leave an eye, or an ear here

- ICP-2改定：
コミュニティからの意見を正しく汲み上げることが意識して、丁寧に進行中です
- AFRINICの状況：
関係者の努力によって正常化に足早に向かっています。難しい問題も見え隠れします
- 政府間アリーナ：
好ましい理解のもと好ましく進んでいるように見えます
- 国内政策：
憲法論・被害実態・各国の状況・技術的視点など、あらゆる事情の理解をもとに検討を進めています

▶▶▶ ありがとうございます

激動の一年を振り返る：インターネットガバナンス2025
IP Meeting 2025「挑戦×経験×世代 ～フルスタックで“不確実”の先へ」

2025年11月27日

JPNIC政策主幹 前村 昌紀